

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400039
事業所名	ニチケアセンター鶴が沢

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域との双方向の交流が深みを増している。地域の祭りでは、子ども神輿がホームに立ち寄り、子どもたちから歌のプレゼントがある。振る舞い菓子を用意して、利用者はこの日を待ちわびている。「子ども110番の家」としての登録があることから、小学校のPTAの役員がお礼にホームを訪れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	毎奇数月に運営推進会議を開き、年間6回の開催である。家族の参加が多く、いきいき支援センター職員、民生委員児童委員が参加している。会議を利用して各種の勉強会も行われ、「口腔ケア」の勉強会では、医療機関(訪問歯科)から担当者や歯科衛生士が講師として参加した。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	毎回、運営推進会議には行政枠でいきいき支援センターの職員が参加している。いきいき支援センターの担当者変更になる場合には、会議の中で適切な説明もある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族の来訪が多く、その都度意見や要望を聞き取っている。運営推進会議への家族の参加が多く、活発な意見や質問が出ている。「訪問歯科の頻度は?」、「外部評価の結果はどこに公表されているのか?」等、忌憚のない質問が出ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎			